



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
 コード番号 7552 URL <https://www.happinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室長 (氏名) 石丸 裕之 (TEL) 03-3847-0410
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	50,499	9.2	450	△21.7	483	△15.7	285	107.9
2020年3月期第1四半期	46,257	△2.1	575	△25.0	573	△23.9	137	△68.5

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 598百万円(174.8%) 2020年3月期第1四半期 217百万円(△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	13.04	12.72
2020年3月期第1四半期	6.29	6.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	70,213	38,118	53.4
2020年3月期	70,754	38,178	53.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 37,484百万円 2020年3月期 37,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により今後の市場動向は依然不透明であり、現時点で合理的な算定が困難なことから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	24,050,000株	2020年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,141,071株	2020年3月期	2,142,271株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	21,908,626株	2020年3月期1Q	21,832,258株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な算定が困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2020年8月12日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの関連業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外出自粛や商業施設の休業・営業時間短縮が発生し、玩具市場、アミューズメント市場は消費者とのタッチポイントの減少、映像音楽市場は新譜の発売延期やイベント開催の中止などにより、厳しい状況で推移いたしました。その一方で、ビデオゲーム市場は巣ごもりにより需要が高まっております。

このような状況の中、当社グループの経営成績につきましては、ビデオゲーム事業が好調に推移したことや、2019年11月に模型玩具卸売事業に参入したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。営業利益、経常利益につきましては、利益率の高いアミューズメント事業が低調に推移したことにより、前年同期を下回りました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に特別損失としてハピネット設立50周年記念費用の計上があったことにより、大幅な増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は504億9千9百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は4億5千万円(同21.7%減)、経常利益は4億8千3百万円(同15.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億8千5百万円(同107.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①玩具事業

玩具事業につきましては、当社グループの取引先である商業施設の休業・営業時間短縮の影響があったものの、2019年11月1日付で株式会社イリスワの株式を取得(子会社化)し、模型玩具卸売事業に参入したことや、コンビニエンスストア向け商品が好調に推移したことに加え、広告宣伝費などの販売費及び一般管理費が減少したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は174億9千3百万円(前年同期比6.9%増)、セグメント利益は4億5千6百万円(同79.5%増)となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、映画「アナと雪の女王2」のパッケージなど一部ヒット商品はあったものの、外出自粛の影響により配信サービスの普及が加速し、パッケージ市場全体が厳しい環境で推移していることに加え、新譜の発売延期やイベント開催の中止などの影響もあり、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

この結果、売上高は133億6千8百万円(前年同期比25.0%減)、セグメント利益は1億9千8百万円(同28.5%減)となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、巣ごもり需要により市場全体が好調に推移しており、「Nintendo Switch」関連のハードや「あつまれ どうぶつの森」などの関連ソフトのヒットに加え、「PlayStation4」関連ソフトも堅調に推移し、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は168億5千6百万円(前年同期比125.9%増)、セグメント利益は2億3千6百万円(同1,168.4%増)となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、外出自粛や当社グループの取引先である商業施設の休業・営業時間短縮、インバウンド需要の低下などにより売上が減少したことに加え、滞留在庫の評価損失を計上したことにより、売上高、利益面ともに低調に推移いたしました。

この結果、売上高は27億8千1百万円(前年同期比39.6%減)、セグメント損失は1億3千7百万円(前年同期はセグメント利益3億3千万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億4千1百万円減少し、702億1千3百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少21億1千9百万円及びたな卸資産の増加16億9千1百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億8千万円減少し、320億9千5百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少6億4千万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6千万円減少し、381億1千8百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加2億8千5百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少6億6千万円及びその他有価証券評価差額金の増加3億1千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛や当社グループの取引先である商業施設の休業・営業時間短縮が徐々に解除されているものの、今後の市場動向は依然不透明であり、合理的に判断することが困難であるため、未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,410	13,895
受取手形及び売掛金	27,344	25,224
電子記録債権	2,759	3,336
たな卸資産	6,503	8,194
その他	4,078	3,562
貸倒引当金	△9	△10
流動資産合計	55,086	54,204
固定資産		
有形固定資産	813	900
無形固定資産		
のれん	390	357
その他	2,197	2,272
無形固定資産合計	2,588	2,629
投資その他の資産		
投資有価証券	7,000	7,351
その他	5,299	5,161
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	12,266	12,479
固定資産合計	15,668	16,008
資産合計	70,754	70,213
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,188	22,755
未払法人税等	790	150
賞与引当金	242	345
その他の引当金	40	21
その他	4,735	4,225
流動負債合計	27,996	27,498
固定負債		
株式給付引当金	107	105
退職給付に係る負債	3,273	3,250
その他	1,197	1,240
固定負債合計	4,578	4,597
負債合計	32,575	32,095
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,912	2,912
利益剰余金	32,202	31,827
自己株式	△1,891	△1,889
株主資本合計	35,975	35,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,568	1,881
繰延ヘッジ損益	1	0
その他の包括利益累計額合計	1,569	1,882
新株予約権	633	633
純資産合計	38,178	38,118
負債純資産合計	70,754	70,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	46,257	50,499
売上原価	40,760	45,258
売上総利益	5,496	5,241
販売費及び一般管理費	4,921	4,790
営業利益	575	450
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	74	78
その他	16	15
営業外収益合計	90	93
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	90	57
その他	1	3
営業外費用合計	91	60
経常利益	573	483
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	1	0
50周年記念費用	280	-
特別損失合計	282	0
税金等調整前四半期純利益	291	482
法人税、住民税及び事業税	83	136
法人税等調整額	70	60
法人税等合計	153	197
四半期純利益	137	285
親会社株主に帰属する四半期純利益	137	285

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	137	285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	312
繰延ヘッジ損益	△1	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	80	312
四半期包括利益	217	598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	217	598
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,362	17,829	7,462	4,601	46,257	—	46,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	16,362	17,829	7,462	4,601	46,257	—	46,257
セグメント利益	254	278	18	330	881	△306	575

(注) 1. セグメント利益の調整額△306百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△306百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,493	13,368	16,856	2,781	50,499	—	50,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,493	13,368	16,856	2,781	50,499	—	50,499
セグメント利益 又は損失(△)	456	198	236	△137	755	△304	450

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△304百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△304百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。